

姉妹都市提携50周年記念サンタモニカ市親善訪問団受入事業 報告書

1 事業概要

(1) 目的

姉妹都市であるアメリカ・サンタモニカ市から親善訪問団を受け入れることで、両市民の友好親善を図り、国際理解を深めることを目的とする。

また、2025年は姉妹都市提携を締結してから50周年であるため、記念事業を実施することにより、これまでの両市の交流を振り返るとともに、これからの交流の機運を高めるきっかけとする。

(2) アメリカ・サンタモニカ市について

人 口：約9万人

面 積：約21km²

市 長：Lana Negrete（ラナ ネグレット）

概 要：アメリカの西海岸に位置し、ロサンゼルス市に隣接する都市。地中海気候で1年を通じて温暖で、雨は少なめであるため過ごしやすい。

太平洋に沿って続く砂浜のサンタモニカビーチには、レストランや遊園地などが並び、多くの観光客が訪れる人気スポットである。ビーチにある「サンタモニカ・ピア」は西海岸で最も古いレジャー用栈橋で、そこにかかるアーチはまちのシンボリックな存在であり、古くよりサンタモニカ市民から愛されている。

提 携 日：1975（昭和50）年7月21日

市の位置：



2 来訪者名簿（28人）

区分	所属(職位)	氏名	備考
サンタモニカ市	市長	ラナ・ネグレット	
		ルイス・ネグレット	市長ご家族
		ブリアナ・ネグレット	市長ご家族
		ミア・ネグレット	市長ご家族
サンタモニカ 姉妹都市協会	会長	ジェフ・ジャロウ	
		モルガン・ジャロウ	会長ご家族
	副会長	モニカ・ホワイト	
	副会長	デボラ・デイリー	
	秘書	キャスリーン・マッカン	
	交換学生事業担当	オリビア・チュウ	
		イーサン・レヴィット	
	交換学生事業担当	ホリー・キーガン	
	役員	アーリン・ハーウィーズ	
		アディアナ・ハーウィーズ	R5 交換学生
		ケラ・ブレイズ・スネル	
		ジム・ローソン	
		リズ・トリッツ	
		オリバー・ジンネマン	
		ソニア・チャプニック	
SGI-USA	理事	イアン・マキルレイス	
		オードリー・マキルレイス	団長
		チコ・サイトウ	
		カホ・シモヤマ	
サンタモニカ高校	教頭	グレゴリー・ピッツ	
	日本語教師	エミリー・カリヤ	
	日本語教師	シェリル・ネズビット	
	英語教師	ギルダ・デ・ラ・クルーズ	
	美術教師	ジョン・ガラン	

※ サンタモニカ高校生39人も併せて来訪し、市民ボランティア宅にホームステイした

3 受入行程

① サンタモニカ市・サンタモニカ姉妹都市協会・SGI 訪問団

4/11 (金)	10 : 00	富士宮市役所 発 (羽田空港へ迎え)
	13 : 45	羽田空港 着
	16 : 00	サンタモニカ市訪問団と合流し、羽田空港 発
	18 : 45	くれたけイン 着 → チェックイン後、夕食会場へ
	19 : 45	割烹旅館たちばなにて歓迎夕食会
	21 : 30	歓迎夕食会終了 → くれたけインへ
	21 : 45	くれたけイン 着 【初日終了】
4/12 (土)	11 : 00	くれたけイン 発 → 富士山世界遺産センターへ
	11 : 15～12 : 00	富士山世界遺産センター見学
	12 : 15～12 : 45	富士山本宮浅間大社見学
	13 : 00～14 : 00	昼食 (ポルカキッチン)
	14 : 20～15 : 00	白糸の滝見学
	15 : 30～16 : 00	外神東公園にて記念モニュメント (屋外時計) 除幕式
	16 : 35	くれたけイン 着 → 記念式典の準備
	17 : 30	フォレストヒルズにて 50 周年記念式典実施
	19 : 30	記念式典終了 → くれたけインへ
	19 : 45	くれたけイン 着 【2日目終了】
4/13 (日)	9 : 30	くれたけイン 発 → 山梨県へ
	10 : 15～10 : 30	道の駅朝霧高原 着 (休憩)
	11 : 15～12 : 00	富士大石ハナテラス 着 → 施設内見学
	12 : 15～13 : 00	昼食 (河口湖荘)
	14 : 00～16 : 45	御殿場プレミアムアウトレット
	18 : 00	くれたけイン 着 【3日目終了】
4/14 (土)	7 : 15	くれたけイン 発 → 新富士駅へ
	7 : 50	新富士駅 着
	8 : 08	新富士駅 発 → サンタモニカ市訪問団 関西へ 【4日目終了】

② サンタモニカ高校訪問団

4/11（金）	14：00～16：50	星陵高校 着（サンタモニカ高校手配のバスにて） → 交流会及び部活動体験実施
	17：15～17：45	富士宮市役所 着 → キッズゲルニカ披露会実施
	18：15～18：45	富丘交流センター 着 → ホストファミリー引渡し
	～～～以後、サンタモニカ高校生はホストファミリー宅～～～	
	19：15	くれたけイン 着 → チェックイン後、夕食会場へ
	19：45	割烹旅館たちばなにて歓迎夕食会実施（引率のみ）
	21：30	歓迎夕食会終了 → くれたけインへ
	21：45	くれたけイン 着 【初日終了】
4/12（土）	～～～①の行程と同様（引率のみ）～～～ ※サンタモニカ高校生はホストファミリーとともに記念式典参加	
4/13（日）	8：45	くれたけイン 発 → 新富士駅へ（引率のみ）
	9：30	新富士駅 着 ※サンタモニカ高校生はホストファミリーによる送迎にて新富士駅に集合
	10：00	サンタモニカ高校生 集合完了
	10：41	新富士駅 発 → サンタモニカ高校訪問団 東京へ 【3日目終了】

4-1 受入の様子（サンタモニカ市・サンタモニカ姉妹都市協会・SGI 訪問団）

【1日目】

● 羽田空港到着



羽田空港第3ターミナル2階 到着ロビーにて

● 歓迎夕食会

場 所：割烹旅館たちばな

出席者：49人（サンタモニカ市4人、サンタモニカ姉妹都市協会14人、SGI4人、
サンタモニカ高校引率5人、富士宮国際姉妹都市協会15人、富士宮市7人）

内 容：1 開会

2 あいさつ

- | | |
|--------------|----------------|
| (1) 須藤 秀忠 | 富士宮市長 |
| (2) ラナ・ネグレト | サンタモニカ市長 |
| (3) 西村 正志 | 富士宮国際姉妹都市協会会長 |
| (4) ジェフ・ジャロウ | サンタモニカ姉妹都市協会会長 |

3 乾杯のあいさつ（山崎 政男 富士宮国際姉妹都市協会副会長）

4 歓談

5 閉会（浅井 大志 富士宮国際姉妹都市協会副会長）



割烹旅館たちばなにて



握手を交わす須藤市長とラナ市長



あいさつをする西村会長とジェフ会長

【2日目】※サンタモニカ高校生はホームステイ中のため、引率5人が合流

● 市内視察

富士山世界遺産センターをはじめ、富士山本宮浅間大社や白糸の滝など、世界遺産富士山について見識を深めていただける視察先を案内しました。

富士山世界遺産センターでは、センター職員による富士山の歴史を学ぶ講座を受けた後、館内を自由に見学しました。この日は残念ながら、雲がかかっており富士山の山頂まで望むことはできませんでしたが、施設内にて様々な富士山を見ていただくことができました。

富士山本宮浅間大社では、「二礼、二拍、一礼」でお参りをさせていただき、日本の文化を体験していただきました。一行は美しい境内に感動していましたが、特に桜と富士山の湧水が美しい湧玉池を写真に撮っている様子が印象的でした。

白糸の滝では、富士山の湧水による滝であることを説明することができ、富士山の恵みによる美しい景観であることを知っていただきました。



富士山世界遺産センターで説明を受ける



富士山世界遺産センターの展望デッキにて



富士山本宮浅間大社にてお参り



白糸の滝を眺めるサンタモニカ市訪問団

● 記念モニュメント（屋外時計）除幕式

姉妹都市提携50周年を記念し、外神東公園に屋外時計を設置しました。50周年という長きに渡る時間と、これからも共に時を刻んでいきたいという願いを込めて時計を選定しました。



あいさつをする須藤市長



除幕後、出席者全員で記念撮影

● 姉妹都市提携50周年記念レセプション

場 所：ゲストハウス フォレストヒルズ

出席者：206人

【内訳】

サンタモニカ市4人、サンタモニカ姉妹都市協会15人、SGI4人、
サンタモニカ高校引率5人、サンタモニカ高校生39人
衆議院議員2人、県議会議員1人、富士宮市議会9人、
富士宮市国際交流協会1人、富士宮国際姉妹都市協会13人、
第35代ミス富士山2人、令和5・6年度交換学生12人、
ホストファミリー61人、余興披露者13人、通訳協力者5人、
富士宮市関係者10人

内 容：1 開会

2 国歌斉唱

3 あいさつ

(1) 須藤 秀忠

富士宮市長

(2) ラナ・ネグレット

サンタモニカ市長

(3) 西村 正志

富士宮国際姉妹都市協会会長

(4) ジェフ・ジャロウ

サンタモニカ姉妹都市協会会長

4 来賓紹介（衆議院議員、県議会議員、市議会議員）

5 訪問団紹介

6 記念品交換

7 功労者表彰

- (1) イアン・マキルレイス SGI-USA 理事
- (2) モニカ・ホワイト サンタモニカ姉妹都市協会副会長（元会長）
- (3) 望月 芳明 富士宮国際姉妹都市協会顧問（元会長）
- (4) 遠藤 克彦 富士宮国際姉妹都市協会前会長

8 鏡開き

9 乾杯（ジェフ・ジャロウ サンタモニカ姉妹都市協会会長）

10 歓談

- 11 余興① ・沖縄剛柔流空手道場 栄道館
・琉球古武術保存振興会 富士宮支部 唯心会
・神刀流 神風館及び神刀流 雷神館
・山田流箏曲「藤の会」及び津軽三味線「和楽」

- 12 余興② ・サンタモニカ高校生による空手や校歌披露

- 13 余興③ 合唱（上を向いて歩こう・It's a small world）

- 14 閉会のことば（浅井 大志 富士宮国際姉妹都市協会副会長）

- 15 閉会



浅間大社青年会によるお囃子で出迎え



会場の様子



市場良子氏の染物を
富士宮市の記念品として贈呈



功労者表彰をうけるイアン・マキルレイス氏



総勢 7 人で鏡開き



余興の様子



歓談を楽しむ参加者



サンタモニカ高校生代表のあいさつ



サンタモニカ高校生による空手の型の披露



サンタモニカ高校生と柔道館関係者による交流



会場全員で合唱



閉会の様子

【3日目】

● 山梨観光

この日は、サンタモニカ市からの要望により山梨県（河口湖周辺）及び御殿場プレミアムアウトレットを訪れました。本来であれば山梨県の滞在時間を長くする予定でしたが、雨天のため行程を短縮しました。

天候には恵まれませんでした、訪問団一同は有名な観光地である河口湖周辺や御殿場プレミアムアウトレットを楽しんでいる様子でした。

4-2 受入の様子（サンタモニカ高校訪問団）

【1日目】

● 星陵高校訪問

グループワークによる交流会や日本文化体験、ゲームなどにより、短時間ではありましたが、交流を深めることができました。両市の生徒ともに姉妹都市である海外の学生と交流をすることができ、異文化理解を深めるきっかけとなった様子でした。



グループワークの様子



書道体験



剣道体験



集合写真

● キッズゲルニカ披露会

富士宮市国際交流協会が推進する「キッズゲルニカプロジェクト」について、サンタモニカ高校に作品を制作していただいたため、富士宮市役所にて披露式を行いました。



サンタモニカ高校
グレゴリー・ピッツ教頭によるあいさつ



サンタモニカ市をイメージして
作られた作品をバックに集合写真

【3日目】

● 新富士駅出発

サンタモニカ高校生は2泊3日のホームステイを終え、富士宮市を後にしました。短期間のホームステイではありましたが、名残惜しそうにしているホストファミリーと高校生の様子が印象的で、文化や言葉は違っても気持ちは通じ合うということを実感しました。



新富士駅にて。記念撮影と最後まで見送るホストファミリーの様子

5 成果報告

サンタモニカ市から訪問団が来訪するのは実に10年ぶりとなりましたが、60人を超える皆さまを迎えることができました。受入期間中、50周年を記念してモニュメントの除幕式や記念式典を行うとともに、サンタモニカ高校訪問団の星陵高校訪問やホームステイなど、幅広く交流を実施することができました。

グローバル化が急速に進む今般においては、世界中の人と比較的容易につながるができることから、そのような場面に対応するためには英語学習や異文化体験の機会は必要不可欠です。そのような中、英語圏であるサンタモニカ市との交流は、富士宮市民にとって非常に貴重な機会です。

50年もの間、サンタモニカ市とは市民や学生との交流を絶え間なく実施してきました。今後も交流を続けていくために、今回の訪問団受入は非常に有意義であったと感じています。なぜなら、50年という長い歴史を振り返るとともに、今後の交流についてお互いに確認できた機会となったからです。また、市民ボランティアによるホームステイの受入や記念レセプションへの市民の参加などを通して、文化や言語が違っても気持ちは通じ合うということを実感し、サンタモニカ市との交流の意義を再確認することができました。

今後とも、サンタモニカ市と良好な関係を継続し、より多くの市民にサンタモニカ市との交流の機会を提供できるよう、富士宮国際姉妹都市協会とともに努めてまいります。